

## イタリアでFPPの本が出版

### スポーツにおけるFPPの有用性が酸化ストレスの観点からも示唆される

イタリアの著名なジャーナリストであるマルゲリータ・エンリコ女史と大里研究所所長ピエール・マンテロ博士の共著によりFPPの新しい本が出版されました。2006年9月19日に出版のための記者会見がミラノにて盛大に行われ、30名のジャーナリストとイタリアのセレブ200名以上が招待されました。会見の様子は、複数の新聞および「TG5イブニングニュース」などのTV番組でも紹介され、エンリコ女史のインタビューとともに放映されました。

マルゲリータ・エンリコ女史は著書の中で、幸せに歳を重ねる秘訣や身体管理の方法、そしてそれらを補完するFPPの可能性をあらゆる角度から検証しています。また、スポーツにおける酸化ストレスと免疫力低下の関係を、FPPを摂取している有名なスポーツ選手のコメントを交えながら、綴っています。

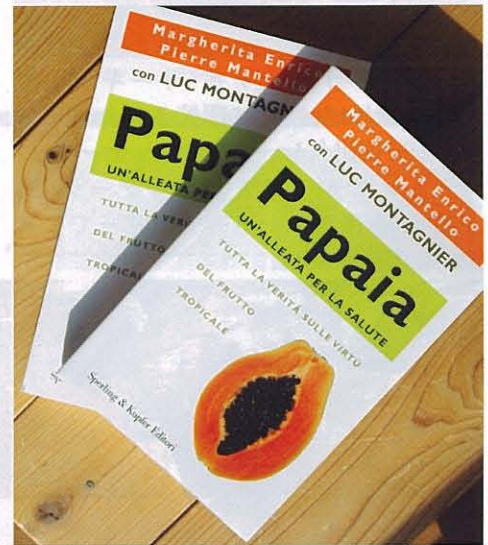
特にモータースポーツのドライバーは、疲労とストレスが顕著であり、一瞬のミスが死につながります。二人の有名ドライバーのコメントをここでご紹介いたします。一人は元F1ドライバー、ジャン・アレジ氏、そしてもう一人は、ダカールラリーに参戦しているSMGバギーのチームオーナー兼ドライバーであるフィリップ・ガシュ選手です。

ジャン・アレジ氏のコメント:「プロのスポーツ選手として、生活様式や食事には細心の注意を払ってきた。過度の運動が過剰な活性酸素をもたらすことも知っている。抗酸化作用のある栄養補完食品であるFPPを、友人のドライバー、フィリップ・ガシュの勧めにより摂

取するようになった。摂取し始めて1週間目には、疲れが軽減したように感じた。以来、摂取し続けているが、以前よく患っていた風邪がまったく患わなくなった。精神的、肉体的ストレスも克服できるようになった。」

フィリップ・ガシュ選手のコメント:「2005年のダカールラリー開始8週間前からFPPを摂取し始めたところ、集中トレーニング中の疲労が軽減され、悩まされていた風邪も患わなくなった。レース中も毎日熟睡できたので疲労の蓄積が少なくなった。レース後は、日常生活のリズムを取り戻すのが難しいのだが、FPPのおかげで非常に早く日常生活に戻ることができた。もっと前からFPPと知り合っていたら良かったと思う。」

このように誰よりも健康管理に気を使う、超一流レーサーの発言からも、FPPのスポーツにおける有用性が示唆されています。また、今までは血液採取による検査からしか正確なデータが得られませんでした。最近では唾液によるパラメーターの研究も進めており、こ



著者のマルゲリータ・エンリコ女史

記者会見の様相

れにより摂取後の働きが簡単にチェックできつつあります。スポーツのフィールドでのFPPの可能性が大いに高まりを見せています。



フィリップ・ガシュ選手

## イミュナーージュ・バギー 2006ダカールラリーにて総合12位でフィニッシュ

フランスを代表するドライバー、フィリップ・ガシュ選手のチームSMGイミュナーージュ・バギーが、2006ダカールラリーで、強豪メーカーのファクトリーチームと互角に戦い、総合12位の好成績でゴールしました。

ダカールラリーは1月1日から2週

間に渡って行われる世界一苛酷なレース。ガシュ選手は、レース1ヶ月前の自主トレーニングからイミュナーージュを毎日摂取し始め、体調を整えてレースに挑みました。レース中も、前日の疲労回復のためにイミュナーージュを摂取し続け、すばらしい結果を残すことができました。





# イミュナーージュ・アストンマーチンV8ヴァンテージ バーレーン24時間耐久レースで総合8位の健闘

バーレーンは砂漠気候に属し、降雨量は極端に少ない。しかし、レース二日目の早朝から雨が降り始め、急速ビッドイン。ワークスクルーの素早い対応で ウェットタイヤを装着。降りしきる雨の中、水しぶきを上げながらフルアクセルでチェッカーフラッグを受けた。



ペルシア湾に浮かぶ島国、バーレーンの国際ショナル・サーキットで2006年12月15、16日に開催されたバーレーン24時間耐久レースにイミュナーージュ・アストンマーチンV8 ヴァンテージN24が参戦。市販車ベースカテゴリーでアス

トンマーチン社のワークスチームとして出場し、総合で堂々8位の成績を残しました。

イギリスとドイツの混成によるドライバーとワークス・クルーはテスト走行時からイミュナーージュを摂取し、過酷な

レースに備えました。イミュナーージュを摂取することにより、前日、前々日の疲労をレース当日に残さず、当日も摂取を続けながらレースに臨んでいたため、怪我や事故に苛まれることなく24時間を戦い抜きました。



# アストンマーチンDBR9 イミュナーージュのサポートでル・マンGT1クラス準優勝

100周年を迎えた世界最高峰のレースの一つ、ル・マン24時間耐久レースに出場したアストンマーチン・レーシングは、2006年6月19日、GT1クラスで2位と5位で完走。さらに総合でも6位、10位と圧倒的な速さを見せつけました。

大里研究所は、2005年よりイギリスのアストンマーチン・レーシングのテクニカル・パートナーとしてドライバーの健康面をサポートしています。モータースポーツにおけるドライバーは、短期間のうちに健康状態から病的な状態になる典型であり、スポーツと酸化ストレスの関係を測る上で最も適

した臨床検査の対象となります。この研究を進めることによって、より安全なレースを目指します。



ランデブー走行をする9号車と7号車



テクニカル・パートナー、Immun'Ageのロゴがドア下に



インターコンチネンタルホテルはじめ、AMR(アストンマーチンレーシング)のパートナー達と林社長



## イミュナーゼ・フェラーリ-360 フェラーリデイのGTレースで優勝



2006年10月29日にフェラーリのファンイベント、フェラーリデイがイタリアのモンツァ・サーキットで開催されました。イミュナーゼ・フェラーリ-360はGTレースに出場し、見事優勝。フェラーリ

360ワールドチャンピオンの栄冠を手に入れました。ドライバーのロレンツォ・ボンテンペリ選手は、以前からイミュナーゼを摂取しており、当日は万全の態勢でレースに臨んだとのこと。「ストレ

スや肉体疲労の回復にイミュナーゼがとても助かっている」と、ボンテンペリ選手は手放しで喜びを表現。優勝の祝杯を大里インターナショナルのスタッフとともにあげ、喜びを分かち合いました。



レース前にボンテンペリ選手を激励



イミュナーゼ・フェラーリのレースクイーンと



ボンテンペリ選手とともに優勝を喜ぶチーム大里のスタッフ

## 小児ガン自転車チャリティレース L'A tout Sport 2006 ~Petits Coeurs~

2006年5月7日、小児ガン自転車チャリティレースが開催されました。レース地は、南フランスのヴァランスから車で1時間ほどのUssets山中。このレースは10年目の節目を迎え、年を重ねるごとに活況を呈しています。

大里インターナショナルが当レースを

後援するのは3年目。毎年イミュナーゼを供給し、選手の健康管理に寄与しています。当レースではお馴染みのサプリメントとなり、選手たちは疲労回復に役立つと口々に話していました。当日はあいにくの雨模様でしたが、大里インターナショナル社長、林 幸泰の合図でレースがスタート。選手

たちはイミュナーゼを摂取しながら、颯爽と風を切ってゴールを目指しました。

当チャリティレースで集まりました募金は全て、リヨン大学病院小児ガンセンターへ寄付されました。大里インターナショナルは今後もチャリティ活動支援を継続し、社会に貢献していきます。



リヨン大学小児ガンセンター所長 Prof. Phillippe (中央)もレースに出場



Immune Ageのロゴの入ったウインドブレーカーが大活躍



時折、木漏れ日の差す大自然の中を駆け抜ける

## 注目を集めた健康博覧会2006へのブース出展

2006年3月22日~24日、東京ビッグサイトにて健康博覧会が開催され、大里インターナショナルはブース出展をし、プレゼンテーションを行いました。今回で24回目を迎えた健康博覧会2006は、国内最大の健康産業展です。出展社数560社、来場者数は3日間で48,533名を数え、年々規模が大きくなっています。

ブース出展と並行して大里研究所所長のピエール・マンテロ博士がプレゼンテーション・セミナーを行い、イミュナーゼの特性や現在までの研究成果を

発表しました。健康産業が注目を集め、多くの企業が進出する中、真の安全性とクオリティの高さが求められています。ブース出展とセミナーによる複合的なセッションは、良いものを見極めたい来場者の要望に合ったようでした。

マンテロ博士の英語によるレクチャーを大里研究所の吉田研究員が通訳すると

いう大里研究所らしいセミナーも好評で、セミナー後、出展ブースにまで熱心に質問に来られる方もあり、イミュナーゼに対する関心の高まりが感じられました。



熱心に質問する来場者



透明感のある上品なブース



## 食品安全国際規格ISO22000取得 製造工場、ネオリバーの品質・環境への配慮と食品安全マネジメントシステム

食の安全確保は、快適な社会生活を営む上で、基本的要件であることは言うまでもありません。したがって人類は食品安全リスク軽減の努力を積み重ねてきました。

現代は、食品の分野においても国際化、広域化に伴い、世界各地で生産、製造された食品が国の内外を問わず流通しています。しかし、このようなフードチェーンに対してのリスク管理は十分とは言いがたいのが現状のようです。また近年、日本では食品安全を脅かす不祥事が頻繁に起こり、食の安全・信頼に対する消費者の関心が高まっています。

イミュナーージュは、国際標準規格ISO9001(品質マネジメントシステム)とISO14001(環境への配慮)の認証を受けた自社工場、株式会社ネオリバーで厳格な品質管理のもと製造されています。さらにネオリバーは、2007年2月に総合衛生管理製造過程とISO9001を組み合わせた新たな食品安全マネジメントシステムであるISO22000を取得。国内で数社しか取得していないISO22000により、イミュナーージュの環境・安全・品質に対する保障がなされ、医療の現場での使用の途も開かれていきます。

イミュナーージュの海外における評価も



着実に広がっています。大里インターナショナルは、海外にOSATO Distribution Ltd.、OSATO USAの拠点を持ち、フランス、イタリアでは処方薬局で販売されるなど国際的に高い評価を得ています。



ISOへの取り組みとして、環境へ配慮して緑化運動を推進。工場内部では異物混入検査機をはじめ、最新鋭の機器を完備。

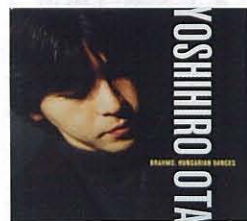


## 新進気鋭のピアニスト大田佳弘のCD 30名様にプレゼント

2006年度チャネルの若手芸術家支援プログラム「CHANEL Pygmalion Days」\*に選ばれた若きピアニスト、大田佳弘の演奏によるCDが大里研究所 林淑子のプロデュースでレコーディングされました。

演奏曲目はブラームスのピアノ曲集で、「ハンガリー舞曲集」(HUNGARIAN DANCES第1番～第10番)と「3つの間奏曲」(INTERMEZZI)。「ハンガリー舞曲集」

の第5番は、チャップリンの映画「独裁者」でもお馴染みの曲。床屋がこの曲に合わせて客の髭を剃る、ユーモア溢れる有名なシーンです。大田の軽快なタッチに思わず体が雀躍りしそうになります。「3つの間奏曲」は、うってかわって物憂げで哀愁に満ちた美しい小品集です。大田は一音一音を語りかけるように情緒たっぷりに弾いています。



- 【応募方法】 ハガキに住所、氏名、年齢を明記の上、下記宛てに郵送してください。  
\*5月31日消印有効
- 【応募宛先】 〒501-0501 岐阜県揖斐郡大野町稲富1956  
大里インターナショナル CDプレゼント係
- 【当選者の発表】 抽選の上、ご当選者の決定をいたします。  
発送をもって当選の発表にかえさせていただきます。



\*CHANEL Pygmalion Days  
「Pygmalion(ピグマリオン)」という言葉の由来はギリシャ神話からきており、才能を信じ、支援し、開花させる人という意味があります。チャネルの創始者であるマドモアゼル・シャネルは、無名時代のパブロ・ピカソ、イゴール・ストラヴィンスキー、レイモン・ラディグ、ルキノ・ヴィスコンティ、ジャン・コクトーらを支援し、「ピグマリオンだった」と言われています。「CHANEL Pygmalion Days」は、このスピリットを継承し、ネクサス・ホールにて若手アーティストに演奏する機会を提供するプログラムです。(チャネルホームページより抜粋)

OSATO®  
INTERNATIONAL

OSATO INTERNATIONAL NEWS

第3号 2007年4月30日発行  
発行：OSATO International, Inc.

〒501-0501 岐阜県揖斐郡大野町稲富1956 Phone:0585-34-3130 Fax:0585-34-3880 <http://www.fpp-japan.com>